九月三日　在(前田利家)印

加州

石川・河北

○

【四町村文書】羽咋郡　二四一一

已上

當村之内年貢米余分四百俵可有之候。早々可沙汰候。於延引者可催促遣者也。

十月十五日　利(前田)家　在印

四町村

尾長村

千田村

百性(姓)中

○

【七尾町傳記】鹿島郡　二四一二

嘉例八朔祝儀として、年寄一人罷上候。殊惣町より銀子、并自分目錄のごとく到來候。尚長兵衛かたより可申候也。

八月六日　在(前田利家)印

能州所口惣町中

○

【田谷文書】鳳至郡　二四一三

以上

態申遣候。仍鮭川上魚之事、其方之川なみ何之在所成共、鮭取所より上鮭事可申付候也。

十一月十六日　在(前田利家)印

たう下(道下)村

三郎左衛門尉

○

【道下村文書】鳳至郡　二四一四

態申越候。仍其地鮭川之義、いそぎ沙汰可有之、去年之未進をも、銀子ニ成共鮭ニ成共、急度相濟可申者也。

三輪藤兵衛尉

十月五日　吉宗　在判

貳十尺　道下町

壹尺　清水村

壹尺　高根尾

壹尺　けや

壹尺　もと市うち

貳尺　福とう屋

壹尺　山邊村

壹尺　ういはみ

三尺　もとうち

壹尺　石場

貳尺　谷口村

壹尺　二俣川

壹尺　たいら

壹尺　大町

壹尺　あらや

壹尺　地原

壹尺　定弘

合四十尺

道下　三郎ざへもん殿

此外鮭川百姓中

（第二通は之を合叙す。）

○

【小宮山文書】越前　二四一五

以上

態申遣候。仍米五千俵海津へ上候間、七里半駄賃以下令談合候て、松屋之九郎左衛門所迄可相着候。爲奉行中村新兵衛・谷彌左衛門兩人指越候。其元馳走可令祝着候。謹言。

六月十六日　利(前田)家　在印

敦賀

高嶋(傳右衛門)屋

○

【松屋文書】近江　二四一六

態申越候。仍此鴇毛馬、我々下候迄其元ニ可置候間、馬屋以下入念候て拵、無由斷爲飼可申候也。